

外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのおひとりずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関してご不明な点がある場合、あるいはデータの使用に同意されない場合には、以下にご連絡いただけたらと存じます。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当科における診療、治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

【研究課題名】

大腸穿孔症例に対する救命率向上と術後の QOL 改善を目的とした後ろ向き研究

【研究機関】

帯広厚生病院外科

【研究責任者】

山村喜之（外科部長）

【研究目的】

大腸穿孔による汎発性腹膜炎は高率に敗血症などを来すため、迅速かつ的確な外科的処置を行うことが重要です。これまで予後不良と言われてきた大腸穿孔も、周術期治療の発達により救命率も向上してきておりますが、まだ満足のいくものではありません。また、救命率の向上に伴い、救命のみならず術後の QOL（Quality of life：生活の質）も考慮しなければならなくなってきております。そこで、当科において手術を施行した、大腸穿孔症例を対象に術前・術後の患者データ等から予後不良因子等を検討し、今後の周術期管理に反映し救命率の向上を図るだけでなく、術後の QOL 向上のため最適な術式等を検討します。

【対象と方法】

2011 年 1 月から 2021 年 12 月までの期間で当科において大腸穿孔に対する手術を施行した患者さんを対象として、その患者さんの診療記録、検査データ、画像検査、他科での診療情報等、過去に行われた日常診療に基づくデータを解析します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など患者さんの直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地 電話 0155-65-0101

外科 山村喜之